



人事情報からトレンドまで...

ニューヨーク情報 MAX!

Learn More From MAX



ニューヨーク マンハッタン



新年あけましておめでとうございます。
N.Y.のタイムズスクエアは毎年年末に数十万人の人出で騒がしくごった返し、日本の静寂なる夜に除夜の鐘の音が聞こえる雰囲気とは天と地ほどの違いです。私はアメリカに渡って18年になりますが、あのパーティー感覚にはまだ慣れません。会社を設立してから一度も日本の正月を満喫したことがないので、いつか近いうちに日本で年末年始を過ごしてみたいと思っております。本年度も宜しくお願い申し上げます。

代表取締役 名倉 学氏

第2回 アメリカでの人材採用

連載第1回目は自己紹介でしたが、2回目の今回はアメリカでの人材採用の状況をご紹介します。アメリカに進出する日系企業の97%が弊社のような現地の人材紹介会社にまずコンタクトを取っています。アメリカでの採用事情に精通したプロのサービスを利用することで、採用にかかる時間の短縮、募集広告コストの削減、訴訟などのリスクの軽減ができ、よい人材を効率よく採用することが可能になります。

日本人には入り込めないマーケット拡大のためにアメリカ人を採用したい、日本本社とのやり取りも可能なバイリンガルを採用したい、将来現地法人の幹部候補として育てられる新卒を採用したいなど、ポジションのニーズによってターゲットとなる人材もさまざまです。

★複雑なビザ事情★★★

アメリカ市民、永住権保持者は合法的に仕事ができますが、それ以外は雇用主が就労ビザをサポートする必要があります。留学生は卒業後にプラクティカルトレーニングビザ(1年間のみ就労が可能)を取得でき、その後、就労ビザに切り替えることができるので、日系企業のエントリーレベルのポジションに多く採用されています。

現地採用の就労ビザで最も一般的なのがH-1ビザです。H-1ビザは毎年発給される数に限りがあります。毎年4月に受付が始まり、上限数に達した時点で締め切られます。2004年度より発行数が大幅に引き下げられ、現在は6万5000です。この数には数ヶ月で達してしまい(2005年は9月末で受付終了)、企業の要望に追いついていない状況でしたが、今年は新たに3万の追加枠が設けられる可能性があるようです。

就労ビザの手続きは複雑ですが、日本人のアシスタントを持つ移民法専門の弁護士事務所も複数あり、日系企業からのニーズに対応しています。

★特に注意が必要な面接★★★

集めた候補者を面接する際には慣習の違いから特に注意が必要となります。アメリカでは雇用にあたっての差別(人種、宗教、性別、皮膚の色、年齢、出身国、身体障害、退役軍人などによる差別)が非常に厳しく禁止されているため、面接における質問では日本では当たり前と思われる事項(生年月日、配偶者の有無、国籍など)も差別につながるということで、直接本人に聞くことはできません。ただ、同じ質問でも聞き方によって答えを導き出すことが可能となります。以下に例を挙げてみます。

- ×「アメリカ市民ですか?」
- 「採用決定後に、アメリカで合法的に働くことを証明するものを提出できますか?」
- ×「何語が母国語ですか?」
- 「英語以外の言語を話しますか?」

このような日米の違いを理解した上で、より良い人材を採用し活用していくことが、アメリカでのビジネスの成功には欠かせません。

MAX JOB グローバルな人材を提供する MAX CONSULTING GROUP INC. マックス・コンサルティング・グループ

マックス・コンサルティングでは、アメリカに進出される日本ベンチャー協議会メンバーの皆様に、人材紹介、人材派遣のサービス、人事制度構築サービスを提供し、全面的にバックアップをして参ります。また、不動産、弁護士、会計士のサービスその他に関しても、弊社にお問い合わせ下さい。

MAX Consulting Group, Inc.
317 Madison Avenue, Suite 1418 New York, NY 10017
Tel. 212-949-6660 Fax 212-949-6882 <http://www.maxjob.com>
お問い合わせ: 井島さやか sayaka@maxjob.com

New York Hot Spot!!



【コラム担当】井島 さやか

「Cafe Centro」 <http://www.rapatina.com/cafeCentro/>

ミッドタウンにあるカジュアルフレンチアメリカン。ランチタイムのみ限定的ハンバーガーは、これぞアメリカ! チーズ、ベーコン、オニオンリングまで盛りだくさんのボリューム満点のハンバーガーは一見の価値あり。サイドのラトウエを付けてお肉と一緒に頂くと、違った味が楽しめる。揚げたてのフライドポテトもたくさんついてくるので、1人で食べきるのは至難の技。十分お腹をすかせてから行ってみてはいかがでしょうか。



これぞアメリカ! と喧嘩には負けない、ボリューム満点のハンバーガー